小6　社会　単元テスト　こたえ　　なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

天皇中心の国づくり

＿＿＿ がつ ＿＿＿ にち

制限時間 30分　100点満点　教科書やノートを見ないで、時間をはかって解きましょう。

1 言葉を書こう　知識・技能　(24点)

(1) 聖徳太子が建てた、今に残る世界で最も古い木造の寺を 法隆寺 といいます。 (6点)

(2) 聖徳太子が助けて政治を行った、女性の天皇は 推古天皇 です。 (6点)

(3) 唐から日本にわたり、唐招提寺を開いたおぼうさんは 鑑真 です。 (6点)

(4) 奈良時代、唐の進んだ制度や文化を学ぶために送られた使いを 遣唐使 といいます。 (6点)

2 えらぼう　知識・技能　(30点)

(1) 次のできごとを、古いじゅんにならべましょう。 (5点)

ア 平城京に都を移す　イ 小野妹子らを隋に送る　ウ 東大寺の大仏が完成する

エ 中大兄皇子らが蘇我氏をたおす

イ → エ → ア → ウ

607→645→710→752。全部合って5点

(2) 奈良時代にまとめられた、日本で最も古い歌集は (万葉集・古事記・日本書紀) です。 (4点)

(3) 東大寺の大仏が完成した752年は (7・8・9) 世紀です。 (4点)

(4) 聖徳太子は、十七条の憲法 を定めて、役人の心がまえを示しました。 (6点)

(5) 中大兄皇子とともに蘇我氏をたおし、天皇中心の国づくりを始めた人物は 中臣鎌足 です。 藤原鎌足でも○ (6点)

(6) 大化の改新のあと、土地と人々はどうなりましたか。 ア (5点)

ア 国(天皇)のものとされ、人々は国に税をおさめるようになった

イ 豪族がそれぞれ自由に治めるようになった　ウ すべて寺のものになった

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら

小6　社会　単元テスト　こたえ　　なまえ

天皇中心の国づくり　2まいめ

3 資料を読もう

調は地方の特産物を都におさめる税　知識・技能　(20点)

平城京のあとから見つかった荷札(木簡)に書かれた、送り元と品物の例

送り元(今の県)	品物
静岡県	かつお
福井県	塩
千葉県	あわび

(1) これらの品物は、農民がおさめた税の一つで、都に運ばれました。税の名前は　(4点)
(租 ・ 調 ・ 庸) です。

(2) 品物は、だれが都まで運びましたか。 ア　(5点)
ア 税をおさめる農民が、自分で運んだ　イ 都の役人が、船で集めに行った
ウ 商人が買い取って、都で売った

(3) 表から分かることをえらびましょう。 イ　(5点)
ア 都の近くの地方からだけ、品物が集められた
イ 海に面した地方から、その土地でとれる海の産物が集められた
ウ 外国から、めずらしい品物が集められた

(4) 農民には、税のほかに、都や九州の守りにつく 兵士 の役目もあり、くらしは苦しいものでした。　(6点)
兵役・防人でも○

4 考えて書こう

思考・判断・表現　(26点)

(1) 聖徳太子は、603年に冠位十二階を定めました。それまでの役人の地位の決め方にふれて、ねらいを書きましょう。　(13点)

(例)それまでは豪族の家がらで役人の地位が決まっていたので、家がらにとらわれず能力のある人を役人に取り立てるため。

「家がらで決まっていた」と「能力のある人を取り立てる」の両方で13点。片方なら6点

(2) 聖武天皇のころは、病気の流行や反乱が続き、社会に不安が広がっていました。聖武天皇が大仏を作らせたのはなぜですか。　(13点)

(例)社会の不安をしずめるため、仏教の力で国を守り、人々の心を安らかにしようとしたから。

「仏教の力で国を守る(人々を安心させる)」が書けて13点。「不安をしずめる」だけなら6点